

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2014年7・8月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第556号

「美味しんぼ」をめぐる一連の出来事は、ある人々が原発事故の影響を少なく見せようとすることに必死である。と、いみじくも明らかにした。小学館発行の漫画雑誌に掲載の雁屋哲原作「美味しんぼ」が、「福島の実実」と題する連載をおこない、登場人物が鼻血を出したと、「福島にもう住めない」と発言したことなどが問題となり、地元からだけでなく、大阪府、大阪市からも抗議文が出された。そればかりか閣僚までがこの問題を取り上げるなど、相次いで批判が出た。

「美味しんぼ」は休載となった。出版社によれば、休載は前から決まっていたというが、それを信じる人はいないだろう。

鼻血原因の真偽についてここで判断するつもりはない。しかし漫画の描写にこれだけの反応があることこそ問題と覚えてならない。

かつて水俣病が発生したとき、行政が企業に排水停止を命じなかったことや、そればかりか通産省が「原因物質が確定していないのに工場を名指した」と、告発者たち

を批判し、被害者の声を抹殺したことを思い起こす。

中沢啓治著「はだしのゲン」は、広島での原爆被爆の惨状を語り継ぎ、平和への願いを描いた漫画として秀作である。一昨年夏、ヘイトスピーチで知られる団体がこの作品を問題視した。その後松江市教育委員会がこれに閲覧制限

を批判し、被害者の声を抹殺したことを思い起こす。

中沢啓治著「はだしのゲン」は、広島での原爆被爆の惨状を語り継ぎ、平和への願いを描いた漫画として秀作である。一昨年夏、ヘイトスピーチで知られる団体がこの作品を問題視した。その後松江市教育委員会がこれに閲覧制限

広い発信を



日本クリスチャンアカデミー評議員 横野 朝彦

をかけ、動きはほかに広がった。

日本兵によつて中国人の首が切られる場面や妊婦の腹が切り裂かれる場面を問題視する意見や、君が代や天皇制を批判していることを拒否する歴史認識による批判があった。

「子曰わく、民はこれに由

うことを恐れるがゆえに、体制批判に少しでも結びつくようなことは、芽を摘み、根絶やしにしようとする。古今東西みられることだ。

この国には形のうえであっても、言論、集会、出版の自由がある。けれども、各地でおこなわれている抗議行動や、言論界や知識人の数多くの発信は、為政者にとつて痛くも痒くもないように思える。

某政治家は国会を取り囲む人々の声を、「騒音」であると片づけた。

六十年安保のとき、時の首相は、後樂園に多くの人が集まっていると述べ、安保反対運動に参加していない人々こそ、声なき声であると言った。さしずめ今なら、ワールドカップで、「ニッポン、ニッポン」と叫ぶ人たちこそ、声なき声なのだろうか。

ところがいつっぽうにおいて、漫画の描写に対し、過剰とも言える反応がみられる。これはなんなのか。

それはひとつには、漫画というものの影響力の大きさのゆえだろう。だがそれだけではなく、大衆文化と表現手段によつて、サイレント・マジョリティとされる人々に真相が届く、為政者にとつては、そのことが知識人の発信よりもはるかに危険だと認識されていると思う。

わたしたちの活動と発信が、自身とその周辺に留まっている現実を認めざるをえない。より広く、多様な手段で現状を打破っていくことが求められている。

(日本基督教団番町教会牧師)

関東活動センター

●プログラム紹介・報告

宗教対話Ⅰ「古典で読む20世紀」(全四回) 企画に意外な反応

2014年5月23日(金)〜2015年1月23日(金)

早稲田教会

関東活動センターは、二〇一四年度のあたらしい企画として「古典で読む20世紀」と「心に響く絵本を読む」をはじめました。

20世紀が、歴史の対象となつてからもはや7分の1世紀が経過しようとしている

今、「海図なき時代」とか「漂流する現代」など、20世紀に比べても方向性が見えない時代になつていないでしょうか。一方、書店へ行くと、「え、こんな古典まで」と思うようなテキストが1〜2コインくらゐの価格で手に入るという状況があります。

いつぼう、特に若い世代にとつては、(高齢者もですが)そのような(ヴェーバーや、キルケゴールなどといった)テキストにいきなり飛びつくのは困難がともないます。さ

らに、大学の聴講生や図書館では、年金生活を迎えた「高齢者」(どうもよくないな、年配の方々)が目立ちます。

若い人のあいだでは、仕事の帰りにカフェで読書会というのが流行のようです。

そうした、時代を反映してか、5月23日(金)の第一回は15時という時間帯だったにもかかわらず、予想を超えた人数が集まり、マックス・ヴェーバーが20〜21世紀に何を遺言したかをめぐって充実した学びのときをもつことができました。

次回からは社会人の希望もあり、開始時間を18時30分としました。

次回7月25日(金)は、マルクスの「賃労働と資本」(岩波文庫)をテキストに「果たしてマルクスは過去の思想な

のか」、を聞きたいと思えます。なお、第3回は10月24日(金)にニーチェ、第4回は15年1月23日(金)にキル

関西セミナーハウス

●能鑑賞会

「能を楽しむ夕べ in 修学院きらら山荘」報告とご案内



その年の8月より『能を楽しむ夕べ in 修学院きらら山荘』と銘打つて、3月から11月の毎月1回、主に金曜日の17時30より定期的に能の鑑賞会を開催しております。①能の楽しみ方、②当日の演目の説明、

ケゴールを取り上げる予定です。 (ファシリテーター武田発)

③その演目の代表的な場面を特別鑑賞バージョンでご鑑賞

③その演目の代表的な場面を特別鑑賞バージョンでご鑑賞いただくしております。今年の6月13日までの第18回までに、約1,200名様のご鑑賞をいただき、当館の名物企画となりつつあります。11月はおもじまつり新能特別公演を開催し、昨年は演目…巴の公演で1220名様のご鑑賞いただきました。今年度も11月21日(金)17時から演目:融(とおる)で開催いたしますので、是非ご予約をいただきますようご案内申し上げます。(詳しくはパンフレットご参照、または当館フロントまでお問い合わせください)

能を楽しむ夕べ 修学院きらら山荘



- 能の話
●演目の説明、楽しみ方
●堪能者への特別鑑賞
●公演予定の案内

Table with 2 columns: 公演日 (Performance Date) and 料金 (Fees). Rows include dates from 18th to 24th and prices for adults and students.

「鑑をもっと身近に楽しみたい」、そんなご要望にお応えいたします。能の素問らしきをお伝えいたします。

2014年度観劇予定(詳細は別冊) 18日 3月28日(金) 17:30- 演目: 能「白方」
19日 4月12日(金) 17:30- 演目: 能「藤」
20日 4月26日(金) 17:30- 演目: 能「藤」
21日 5月10日(金) 17:30- 演目: 能「藤」
22日 5月24日(金) 17:30- 演目: 能「藤」
23日 6月7日(金) 17:30- 演目: 能「藤」
24日 6月21日(金) 17:30- 演目: 能「藤」



関西セミナーハウス活動センター

●2014年度 修学院フォーラム「福祉」第2回
「ほどほどに去る」終末期医療の現場
から」

野の花診療所院長 徳永 進さん
2014年5月24日(土)



講師の徳永進さんは、終末期医療に長年携わられたから、生と死についての本を多く著しておられる。豊富な経験の中から実際のいろいろな物語を話された。

「死」が当たり前前のことで「生」の方が奇跡であること、死は崇高なものでも特別なものでもない。医療者にとつて大切なことは、死を納得できるものにするところである。独り死は避けるべきものとされているが、本当にそうである



うか。そつと独りで死にたい人もいるかもしれない。自分の家で死ぬことが一番よいと思われているが、必ずしもそうとはいえない。これからどこでどのように死ぬかを、自分の問題として考えておかないばならない。そして、何事も絶対化しないで自由であるこ

どの大切さを強調された。当たり前前の死から見えてくるのは、奇跡の生の素晴らしさである。

の死も尊い。きつと予想外で『ついっかかり』の死になるのではないかと書かれていた。話し上手で、笑わせたり、ほろりとさせたり、ポケットから取り出したハーモニカでなつかしいメロディを吹いてしんみりさせたりと、楽しく有意義な時間であった。

●2014年度「開発教育セミナー」第1回
「開発教育入門セミナー Think Globally, Act Locally ～世界の中の私～」

(協力プログラム)
2014年6月22日(日)
京都市国際交流会館
京都市国際交流協会
(主催) 独 国際協力機構 関西国際センター (JICA 関西)
(公財) 京都市国際交流協会

約80名の参加者を迎えて京都市国際交流協会、JICA 関西主催の開発教育入門セミナーが実施され、関西セミナーハウス開発教育研究会は「パレスチナ問題からひもとく世界の紛争と平和」「世界がもし100人の村だったら」「グローバルゼーションの中の格差と貧困」の3つの分科会を実施した。

育における視点や、構造理解の大切さについて確認した。特に、開発問題を捉えて「それが問題だ!」と指し示した手は、1本の指が問題を、3本の指は自分に向いている、つまり、問題の本質に私自身が関わっていることを忘れてはならない、という話が印象的であった。



く、今とこれからの日本と深く関わっていることがよく理解できた(パレスチナ)。「楽しく、かつ学びをみんなに分け合えた。自発的に行動がないといけないと感じた(100人村)」「意図的につくられた貧困について学ぶことができた/さて、日本の歩むべき道は…考えることの多いプログラムだった(格差と貧困)」などの感想が寄せられ、参加度・満足度ともに高いセミナーになった。この入門セミナーをきっかけに、さらに深く学びあう開発教育の場に、多くの人が参加していただければと願っている。

プログラム案内

◆関東活動センター

■聖書を読む会「あたらしい聖書の学び」

「イエスの世界の女性たち」(全10回)

講師: 山口里子さん (日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時: 4月~2015年2月 第2火曜

18:30 ~ 20:00 (8月休会)

会場: 早稲田奉仕園スコットホール 2階 222号室

参加費: 1,200円/学生 500円

共催: 早稲田奉仕園

■今日的課題プログラム I

『自死』に遭遇した人への慰めとは

講師: 賀来周一さん (キリスト教カウンセリングセンター相談室長)

日時: ④7月14日、⑤8月4日 いずれも月曜 14:00~16:00

会場: 日本聖書神学校

定員: 10名 (先着順)

参加費: 1回 2,000円

協賛: 日本聖書神学校キリスト教研究所

■関東フォーラム宗教対話 I

「古典で考える 20 世紀」

第2回「K. マルクス『賃労働と資本』」

日時: 7月25日(金) 18:30~20:30

第3回「F. ニーチェ『悦ばしき知識』」

日時: 10月24日(金) 18:30~20:30

講師: 武田利邦さん (農村伝道神学校講師)

会場: 早稲田教会ロビー

参加費: 500円

■関東フォーラム宗教対話

財団本部 <http://www.academy-nippon.com>

関東活動センター <http://www.academy-tokyo.com>

関西セミナーハウス <http://www.kansai-seminarhouse.com/>

関西セミナーハウス活動センター <http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 小久保 正

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

TEL 075-711-2147

FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18

日本キリスト教会館 6 F

TEL 03-3207-6198

E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /

関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115

E-mail:info@academy-kansai.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117

E-mail:office@academy-kansai.org

「イスラエル・パレスチナ問題の真実

~和平構築に向けての一つの試み~」

講師: 岩浅紀久さん (IT エンジニアリング研究所代表)

日時: 7月29日(火)18:30~20:30

会場: 早稲田奉仕園スコットホール 2階 222号室

参加費: 300円

共催: 早稲田奉仕園

■関東フォーラム宗教対話 I

「大人に響く絵本」第2回

講師: 太田春夫さん (千代田教会牧師)

日時: 9月26日(金)15:00~17:00

会場: 早稲田教会ロビー

参加費: 500円

◆関西セミナーハウス 修学院きらら山荘

■能を楽しむタベ in 修学院きらら山荘

第19回 能『竹生鳥』

日時: 8月5日(火)17:30~

第20回 能『清経』

日時: 8月29日(金)17:30~

解説・出演: 林宗一郎さん (観世流能楽師)

定員: 50名

能観賞料金: 1,800円 / 大学生 1,200円 (ご宿泊者 1,000円)

円 (ご宿泊者 1,000円)

■林宗一郎を囲んでの懇親会

日時: 上記各回能楽鑑賞後

会場: 関西セミナーハウス 茶室清心庵

費用: 1,500円(ご宿泊者1,300円)

■月釜 清心会

日時: 9月14日(日) 9:00~15:00受付

(1、8月を除く年10回)

於: 関西セミナーハウス

年会費: 5,000円、臨時会費1,000円

◆関西セミナーハウス活動センター

■開発教育セミナー

2014年度第3回「非暴力トレーニングを体験する ~その理念と実践」

講師: 大畑 豊さん (非暴力平和隊・日本(NPJ)理事)

会場: 関西セミナーハウス

日時: 2014年9月13日(土)

16:00~14日(日) 12:00

参加費: 10,500円 (1泊2食込)

2014年度第4回「沖縄スタディツアー~今、考える沖縄」

日時: 10月11日(土)~13日(月祝)

コーディネーター: 玉城直美さん (沖縄 NGO センター)

賛助会費・寄付金報告

2014年5月1日~2014年5月31日

(順不同・敬称略)

◆財団本部

寄付金

棟方 信彦 30,000

日本基督教団早稲田教会 25,000

◆関東活動センター

賛助会費・後援会費

伊藤 博子 5,000

母の会 真崎みよ子 5,000

高畑 昭久 5,000

桃井 明男 5,000

松岡 俊彦 5,000

河波 昌 5,000

只野 哲 5,000

大橋 祐治 5,000

巽 康雄 10,000

寄付金

橋口 仁 2,000

森野 善右衛門 3,000

石山 れい子 2,000

神学生交流プログラム募金

千葉 拓司 10,000

◆関西セミナーハウス活動センター

賛助会費

織田 雪江 5,000

宮田 満雄 3,000

田辺 信子 5,000

松岡 蓉子 5,000

新宗連大阪事務所 生田茂夫 10,000

医) 八田内科医院 10,000

古賀 円 5,000

多木 秀雄 5,000

北垣 宗治 5,000

陶村 世佳子 5,000

新井 正治 3,000

北野 宗香 3,000

公益財団法人京都YMCA 10,000

竹中 百合子 5,000

奈倉 道隆 3,000

平林 喜博 5,000

細田 和民 5,000

高田 照一 5,000

喜多村 やよい 5,000

松田 光代 5,000

佐藤 友紀 5,000

早川 良彌 5,000

岡山 孝太郎 3,000

平野 正 10,000

寄付金

織田 雪江 5,000

園田 毅 5,000

沼田 和也 5,000

日本基督教団賀茂教会 10,000

根岸 宏邦 10,000

新井 正治 3,000

小久保 正 100,000

高畑 恵子 3,000

松本 圭子 5,000

平林 喜博 5,000

中滝 孝明 5,000

齊藤 洋子 3,000

山本 一成 5,000

早川 良彌 5,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。